

# 平成29年度 基礎研修Ⅰ 開催のお知らせ

東京社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、社会福祉士会に入会して最初に受けていただきたい研修と位置付けられております。当会では、下記の日程(全2日)で開催いたします。本研修は、集合研修のほか、課題の提出が必要となります。基礎研修Ⅰについては、所属県士会での受講が原則となります(入会手続き中の方もお申し込みいただけます)。

**☆基礎研修は、認定社会福祉士認証・認定機構に認証された研修です。基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲで1つの研修となっております。**基礎研修を修了しますと、認定社会福祉士制度における認定社会福祉士の取得申請に必要な共通専門の必須単位(10単位)を得ることができます(その場合は、基礎研修Ⅰの受講開始から6年度以内に、基礎研修Ⅲまでを修了することが要件となります)。

**☆ばあとなあ東京に新規登録をご希望の方は、平成29年度より基礎研修Ⅲを修了していることが要件となります。**

※登録には他にも要件があります。詳しくは権利擁護センターばあとなあ東京事務局までお問い合わせください。

## 1. 日程

受講申込み受付期間	5月1日(月)～6月16日(金) 必着 申込書とあわせて、下記 <u>事前課題</u> を郵送してください。
受講決定通知書の発送	6月末日
【集合研修1】開催日時	7月16日(日) 9:30～17:00 戸山サンライズ 大研修室
【中間課題】提出期間	7月17日(月・祝)～10月13日(金) 必着 上記提出期間内に <u>中間課題</u> を郵送してください。
【集合研修2】開催日時	11月19日(日) 9:30～17:00 戸山サンライズ 大研修室

## 2. 受講料 11,000円(別途、テキスト代5,000円が必要です)

※受講料・テキスト代は振込みとなります。振込み先・振込金額・期日は「受講決定通知書」に記載いたします。

## 3. 定員 100名(先着順、定員になり次第締め切ります)

※受講申込み受付期間前に定員に達した場合は、ホームページにてお知らせいたします。

## 4. 申込み方法

- ・ 申込書と次頁の事前課題①・②を同封し、郵送にてお申し込みください。
- ・ 封筒宛名面に「基礎研修Ⅰ 申込書・事前課題」と明記してください。

郵送先:〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階  
公益社団法人 東京社会福祉士会 生涯研修センター事務局宛

## 5. 受講決定について

受講申込み受付期間終了後、申込書および事前課題①・②を確認し、6月末日までに受講決定通知書を発送いたします。

## 6. 事前課題・中間課題の提出について ※課題の詳細は、次頁をご確認ください。

- ・ 書式は「A4・横書き」で、手書き(市販の原稿用紙使用)、パソコン(1行40字)のどちらでも構いません。
- ・ 封筒宛名面に「基礎研修Ⅰ 事前課題(もしくは中間課題)」と明記してください。

**事前課題** ※申込書に同封してください。受講申込み受付期間は 5月1日(月)～6月16日(金) 必着です。

**①「社会福祉士の役割を考える」(1200字程度)**

「生涯研修手帳」を読み、生涯研修制度の概略を理解してください。そのうえで、社会福祉士としての専門性についてあなたの考えをまとめ、生涯研修制度を通じてどのように研鑽を進めるかを、1200字程度でまとめてください。

**②「社会福祉士としての専門性について考える」(800字程度)**

「社会福祉士の倫理綱領・行動規範」を一読し、それを踏まえて、あなたが社会福祉士として大切にしたいことについて800字程度でまとめてください。

※課題には1頁ずつ会員番号と氏名、課題ごとに合計文字数を記入してください。

**中間課題** ※提出期間は 7月17日(月・祝)～10月13日(金) 必着です。

**①「社会福祉士に共通する専門性の理解」(1200字程度)**

『基礎研修テキスト』上巻のP1～P25「社会福祉士に共通する専門性の理解」を読み、なぜ社会福祉士にとって共通基盤が必要なのか、あなたの日頃の実践を振り返りながら、1200字程度にまとめてください。

**②「所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ」(1200字程度)**

所属組織におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を職場で活躍している先輩社会福祉士から話を聞いて、現状を踏まえて考察してください。そのうえで、自らの現状と課題及び組織における現状と課題について、1200字程度にまとめてください。

※現在所属先がないなどの理由で、所属先で話が聞けない場合は、この課題は提出せず、中間課題③を3か所提出してください。

**③「所属組織以外のソーシャルワーク実践について学ぶ」(1施設につき1200字程度、2か所以上)**

他領域におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を、所属組織以外の施設や事業所(独立型社会福祉士事務所を含む)で活躍している先輩社会福祉士から話を聞き、所属組織以外の社会福祉士が抱えるソーシャルワーカーとしての現状と課題について考察し、それぞれ1200字程度でまとめてください。

**④「倫理綱領・行動規範の理解」(1項目につき1200字程度、2項目を提出)**

「社会福祉士の行動規範」と照らし合わせ、あなたの日頃の実践を振り返り、行動規範のうち2つの項目について、1項目を1200字程度にまとめて実践を考察してください。

注:中間課題の提出については、以下の通り、提出して下さい。

**イ)所属先がない方、所属先に社会福祉士がいない方(課題総数6本)**

→中間課題①、中間課題③×3か所、中間課題④×2項目

**ロ)上記以外の方(課題総数6本)**

→中間課題①×1、中間課題②×1、中間課題③×2か所、中間課題④×2項目

※課題には1頁ずつ受講番号と氏名、課題ごとに合計文字数を記入してください。

## 7. 集合研修について

「集合研修 1」、「集合研修 2」の受講は必須となります。講義内容は以下の通りです。

**(1)「集合研修 1」内容 ☆事前課題未提出者は参加できません**

- ・「社会福祉士会のあゆみ」(講義) ・「日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の組織」(講義)
- ・「日本社会福祉士会の生涯研修制度について」(講義) ・「社会福祉士としての専門性について考える」(演習)

**(2)「集合研修 2」内容 ☆中間課題未提出者は参加できません**

- ・「社会福祉士共通基盤の理解」(講義) ・「倫理綱領・行動規範の理解」(講義)
- ・「社会福祉士の倫理綱領の現場適応」(演習)